

スーパーマーケット景気動向調査

2016年7月調査結果（6月実績）
（2016年7月21日公表）

スーパーマーケット中核店舗を対象として経営動向や景気判断を調査し、月次でスーパーマーケット経営を取り巻く内外の環境変化を定量的に明らかにすることを目的としています。またスーパーマーケット販売統計調査における売上変動の要因やカテゴリー別好不調要因を補足する役割を果たすことも期待しています。

【経営動向調査】

1.経営状況：「売上」「収益」「生鮮品仕入原価」「食品仕入原価」「販売価格」「客単価」「来客数」
スーパーマーケット中核店舗における各経営状況について

- ・前年同月と比較し「かなり増加」から「かなり減少」までの5段階で評価
- ・前年同月を100とした当月の値を調査 ※2014年4月実績より

2.カテゴリー動向：「青果」「水産」「畜産」「惣菜」「日配」「一般食品」「非食品」
スーパーマーケット中核店舗における各カテゴリーに販売動向について、

- ・前年同月と比較し「かなり好調」から「かなり不調」までの5段階で評価
- ・各カテゴリーの好不調要因についてのコメント

経営動向調査DI (Diffusion Index) の算出方法

回答構成比 (%) に以下の点数を乗じてDIを算出

かなり改善+0.5・やや改善+0.25・変わらない±0・やや悪化-0.25・かなり悪化-0.5

※すべて企業が「変わらない」と回答した場合、DIは「0」

【景況感調査】

1.景況感：「景気状況」「消費者購買意欲」「店舗周辺の競合状況」「店舗周辺地域の景気」について、

- ・2～3ヵ月前と比較した現状について「かなり改善」から「かなり悪化」まで5段階で評価
- ・今後2～3ヵ月の見通しについて「かなり改善」から「かなり悪化」までの5段階で評価

景況感DI (Diffusion Index) の算出方法

回答構成比 (%) に以下の点数を乗じてDIを算出

かなり改善+1.0・やや改善+0.75・変わらない+0.5・やや悪化+0.25・かなり悪化+0

※すべて企業が「変わらない」と回答した場合、DIは「50」

一般社団法人 日本スーパーマーケット協会
オール日本スーパーマーケット協会
一般社団法人 新日本スーパーマーケット協会

7月調査（6月実績）結果概況

景気判断DI 現状判断は横ばいも、見通し判断は弱含みな傾向が続く

6月のスーパーマーケット中核店舗における景気判断DI 現状判断は前月から+0.2の43.9と横ばいとなったものの、見通し判断は前月から-0.6の42.1と小幅に悪化した。

経営動向調査は、売上高DIが-5.2（前月比+3.9）とやや持ち直したものの、収益DIは-6.3（前月比-1.3）と低下している。来客数DIが低迷していることに加え、仕入原価の落ち着きにより、販売価格DIが1.5と伸び悩んでいることが影響している。

カテゴリ動向結果では、果物類が好調であった青果DIが-2.5（前月比+10.7）と持ち直しをみせ、取組みを強化している惣菜DIが3.1とプラスに回復している。畜産DIや水産DIは前月とほぼ同水準であるが、高い平均気温の恩恵により日配DIや一般食品DIは小幅に上昇している。（カテゴリ動向については最終ページに詳細を掲載）

景況感調査は、総じて前月から横ばいの推移となっているが、見通し判断DIでは弱含みの動向が続いている。長期トレンドでも、現状判断、見通し判断共に下降傾向の継続が示唆されている。（周辺地域景気動向DI 長期傾向参照）

今月も来客数の低迷が続くなか、仕入原価や販売価格の下降傾向が続く状況に大きな変化はみられていない。価格上昇による売上増の好循環が影をひそめており、加えて消費の低迷による価格競争の厳しさを指摘する声もみられるようになってきた。今後、客単価の低下傾向にどのように歯止めをかけていけるか、今後の動向が注目される。

景況感調査

現状判断

景気判断DI

当月：43.9 (+0.2)
前月：43.7

消費者購買意欲DI

当月：45.4 (+0.9)
前月：44.5

周辺地域 競合状況DI

当月：42.9 (+1.6)
前月：41.3

店舗周辺地域 景気判断DI

当月：45.4 (-0.5)
前月：45.9

見通し判断

景気判断DI

当月：42.1 (-0.6)
前月：42.7

消費者購買意欲DI

当月：43.7 (-0.3)
前月：44.0

周辺地域 競合状況DI

当月：40.1 (+0.3)
前月：39.8

店舗周辺地域 景気判断DI

当月：45.4 (+0.1)
前月：45.3

経営動向調査 経営状況

売上高DI

当月：-5.2 (+3.9)
前月：-9.1

客単価DI

当月：3.9 (-0.7)
前月：4.6

来客数DI

当月：-11.3 (+0.5)
前月：-11.8

収益DI

当月：-6.3 (-1.3)
前月：-5.0

販売価格DI

当月：1.5 (+0.3)
前月：1.2

生鮮品仕入原価DI

当月：4.9 (+0.7)
前月：4.2

食品仕入原価DI

当月：2.7 (-2.1)
前月：4.8

カテゴリ動向

青果DI

当月：-2.5 (+10.7)
前月：-13.2

水産DI

当月：-6.4 (+0.5)
前月：-6.9

畜産DI

当月：-6.9 (-0.9)
前月：-6.0

惣菜DI

当月：3.1 (+4.7)
前月：-1.6

日配DI

当月：1.4 (+2.3)
前月：-0.9

一般食品DI

当月：-1.4 (+2.5)
前月：-3.9

非食品DI

当月：-5.9 (-0.3)
前月：-5.6

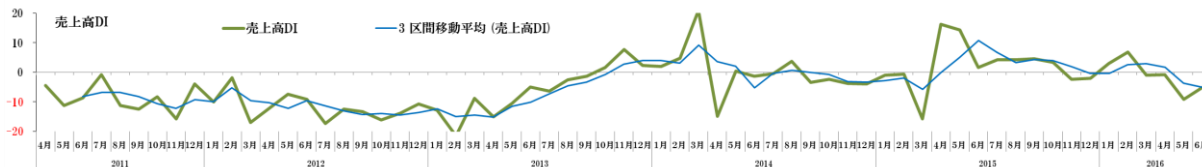
○ 内は前月DIとの増減、赤字はマイナス

7月調査（6月実績）結果詳細 I. 経営動向調査（2011年4月～）

1. 売上高DI

やや持ち直しをみせるも2ヵ月連続のマイナス

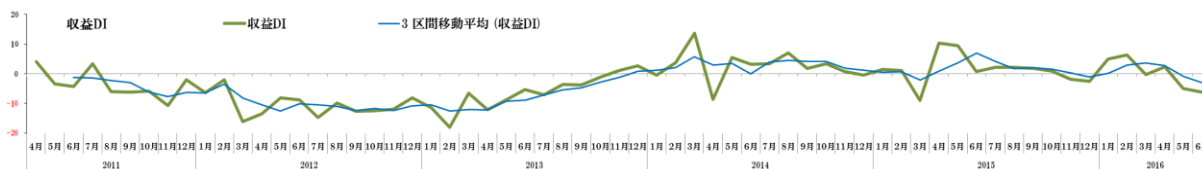
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
売上高 (前月)	5.4	45.8	29.6	18.2	1.0	-9.1
売上高 (当月)	4.7	33.5	40.8	19.9	1.0	-5.2



2. 収益DI

やや悪化し2ヵ月連続のマイナス

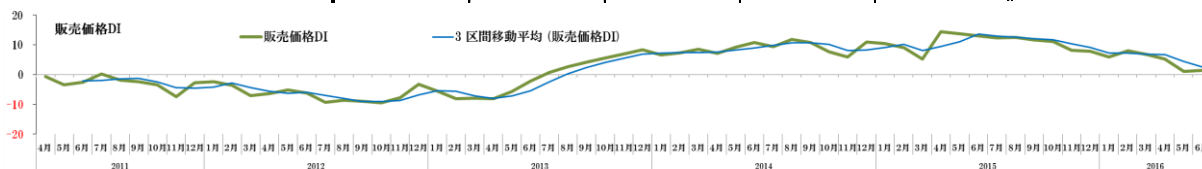
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
収益 (前月)	7.5	32.2	36.2	21.1	3.0	-5.0
収益 (当月)	8.1	31.7	38.7	20.4	1.1	-6.3



3. 販売価格DI

わずかなプラスを維持も、下降傾向が継続

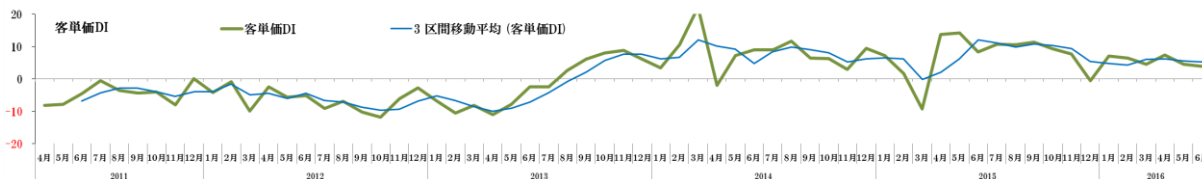
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
販売価格 (前月)	0.5	14.4	64.7	20.4	0.0	1.2
販売価格 (当月)	0.0	13.8	66.7	19.6	0.0	1.5



4. 客単価DI

プラスを維持も、下降傾向が継続

回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
客単価 (前月)	0.0	17.4	46.8	35.8	0.0	4.6
客単価 (当月)	0.0	14.2	55.8	30.0	0.0	3.9



5. 来客数 DI

2 カ月連続で二桁マイナスを記録し、引き続き弱含みな状況が続く

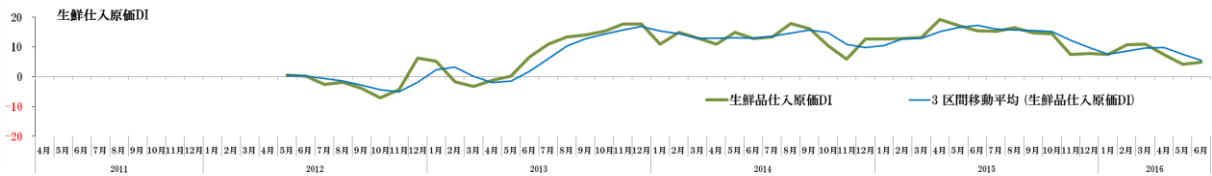
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
来客数 (前月)	5.9	49.3	31.5	12.8	0.5	-11.8
来客数 (当月)	5.8	45.3	37.9	10.5	0.5	-11.3



6. 生鮮仕入原価 DI

わずかに上昇するも、下降傾向が継続

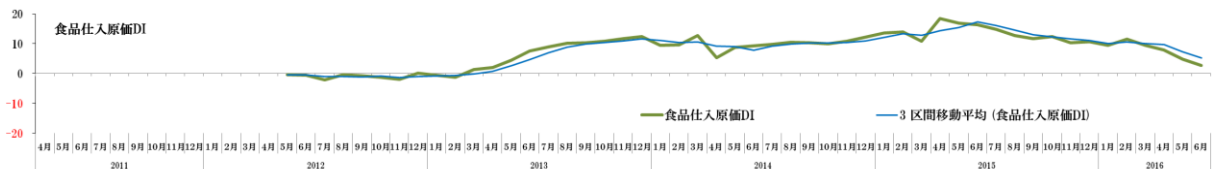
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
生鮮仕入原価 (前月)	1.5	13.2	54.3	28.9	2.0	4.2
生鮮仕入原価 (当月)	0.5	11.9	56.8	29.2	1.6	4.9



7. 食品仕入原価 DI

当月低下し、下降傾向が継続

回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
食品仕入原価 (前月)	1.0	8.1	62.4	27.4	1.0	4.8
食品仕入原価 (当月)	1.1	9.7	67.0	21.6	0.5	2.7

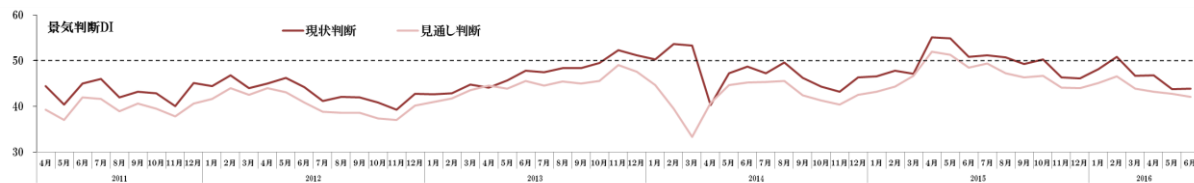


II. 景況感調査 (2011年4月～/周辺地域景気判断のみ 2010年4月～)

1. 中核店舗景気判断 DI

現状判断は横ばい、見通し判断は小幅に悪化し、下降傾向

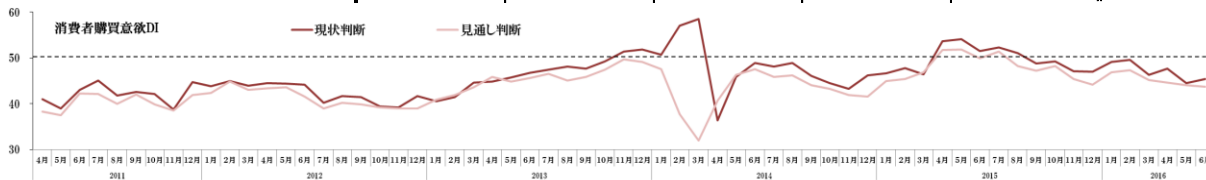
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】景気判断 (前月)	1.5	30.0	60.6	7.9	0.0	43.7
【現状】景気判断 (当月)	1.1	28.9	63.2	6.8	0.0	43.9
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】景気判断 (前月)	3.9	28.6	60.1	7.4	0.0	42.7
【見通し】景気判断 (当月)	2.6	31.6	60.5	5.3	0.0	42.1



2. 消費者購買意欲 DI

現状判断はわずかに改善、見通し判断は小幅に悪化し、下降傾向

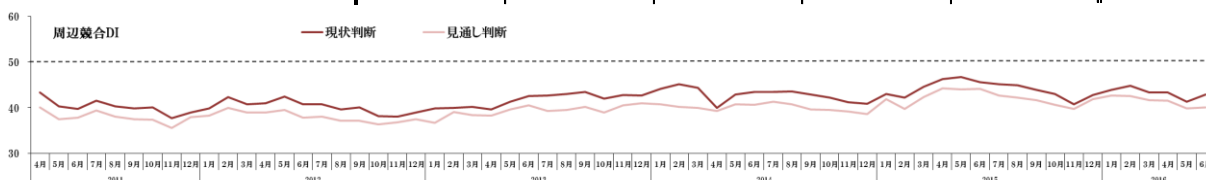
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】購買意欲 (前月)	0.0	27.1	68.0	4.9	0.0	44.5
【現状】購買意欲 (当月)	0.0	24.7	68.9	6.3	0.0	45.4
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】購買意欲 (前月)	0.5	27.5	67.6	4.4	0.0	44.0
【見通し】購買意欲 (当月)	0.0	29.3	66.5	4.2	0.0	43.7



3. 中核店舗周辺競合状況 DI

現状、見通し判断共に小幅に改善も、低位での推移

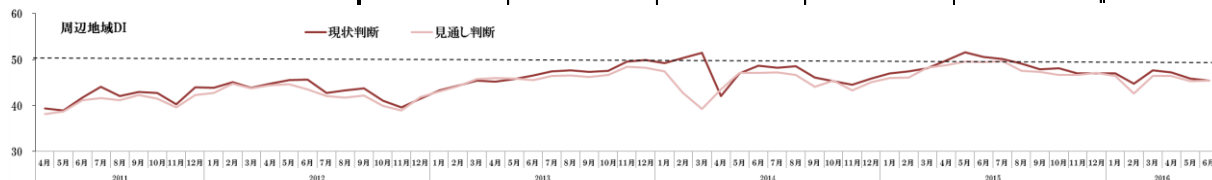
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】競合状況 (前月)	3.0	29.1	68.0	0.0	0.0	41.3
【現状】競合状況 (当月)	1.1	27.9	69.5	1.6	0.0	42.9
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】競合状況 (前月)	5.4	29.9	64.7	0.0	0.0	39.8
【見通し】競合状況 (当月)	3.1	34.6	61.3	1.0	0.0	40.1



4. 中核店舗周辺地域景気判断DI

現状判断はわずかに悪化、見通し判断は横ばいで、下降傾向

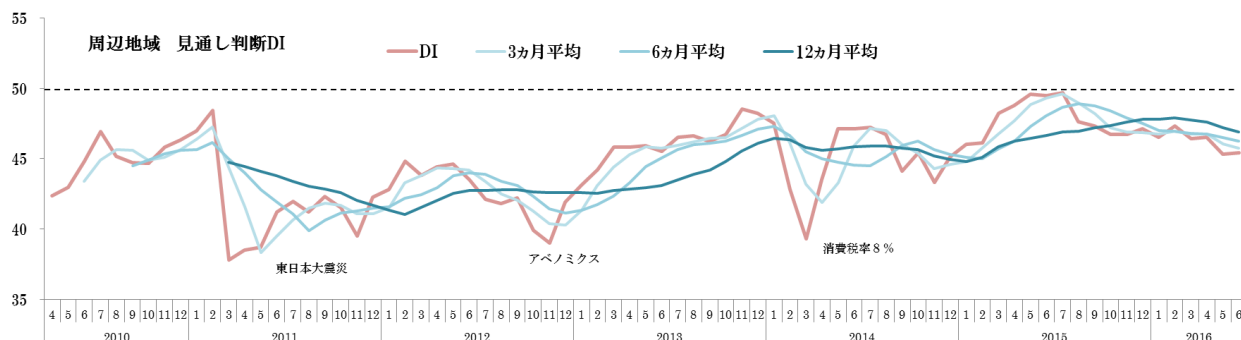
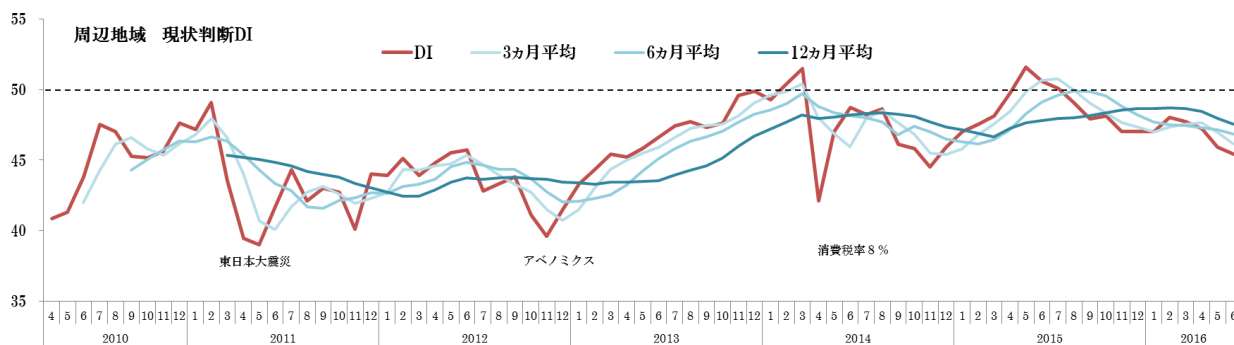
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】地域景気(前月)	0.0	18.9	78.6	2.5	0.0	45.9
【現状】地域景気(当月)	0.0	19.5	79.5	1.1	0.0	45.4
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】地域景気(前月)	0.5	19.9	77.6	2.0	0.0	45.3
【見通し】地域景気(当月)	0.0	18.8	80.6	0.5	0.0	45.4



長期傾向 (2010年4月～)

2012年11月以降上昇を続けていた「中核店舗周辺地域景気判断DI」は、2014年4月の消費税率引き上げの影響を受け下落した。5月に一旦持ち直し、6月～8月まで横ばい推移、9月～11月は再び悪化した。その後、12月以降6ヵ月連続で改善し、2015年5月には調査開始以来の最高水準まで回復をみせた。しかし、6月以降は一転して下落が続き、11月は下落の速度がやや早まった。12月以降はやや持ち直し、底堅く推移していたが、2016年3月と5月も下落をみせ、ダウントレンドが一層鮮明となっている。直近6月は横ばいでの推移となり、一旦下げ止まりを見せている。

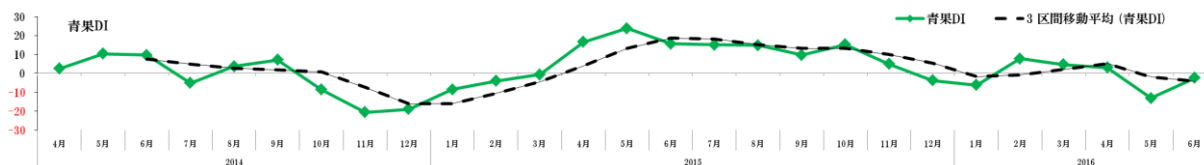
4月に12ヵ月移動平均が、2015年2月以来13ヵ月ぶりにマイナスを記録したが、他の平均線もすべてマイナス推移を続けている。



Ⅲ. カテゴリー別動向

1. 青果DI：-2.5（やや不調）

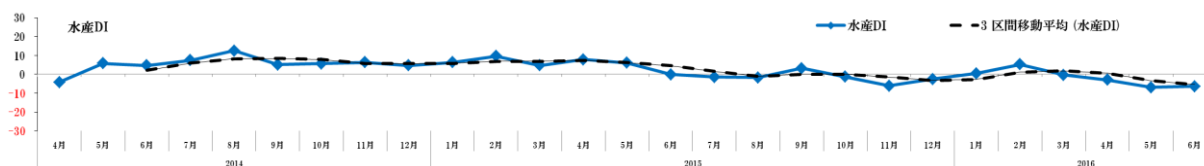
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
青果（前月）	10.4	45.1	33.2	9.8	1.6	-13.2
青果（当月）	3.3	34.3	34.8	24.3	3.3	-2.5



青果相場は全体としては、上旬にかけて安値傾向であったが、下旬は降雨不足や高温により高値で推移したが、品目によってかい離も大きくなっている。特に高値がつづく玉ねぎは不調、気温上昇によりカット野菜は好調となっている。野菜全体としては単価がやや下落傾向にあるなかで、販売数量をどれだけ確保できたかにより、好不調が分かれる結果となった。国産果物では、さくらんぼや桃、すいかなどが好調、バナナは相場高を背景に不調とするコメントが多くみられた。

2. 水産DI：-6.4（やや不調）

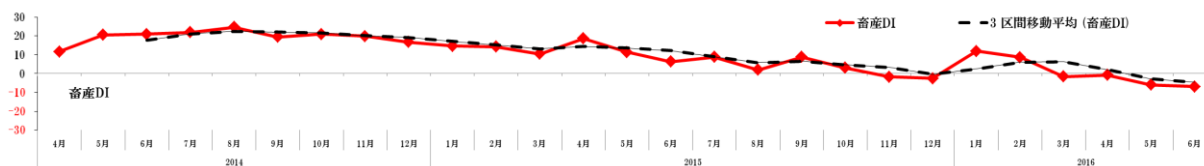
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
水産（前月）	6.7	40.9	30.1	17.6	4.7	-6.9
水産（当月）	6.1	38.7	33.7	17.7	3.9	-6.4



引き続き生魚の入荷不足や相場高が続くなかで、品目により前年との単価比較により好不調がわかる結果となっている。生魚は総じて不調となっており、前年比で高値が続くうなぎも不調とするコメントが多くみられた。父の日に関連した刺身盛り合わせ等は、マグロ等を確保できた店舗とできなかった店舗で好不調に大きな影響がみられた。メディアにて健康食品として取り上げられた海藻類は引き続き好調。

3. 畜産DI：-6.9（やや不調）

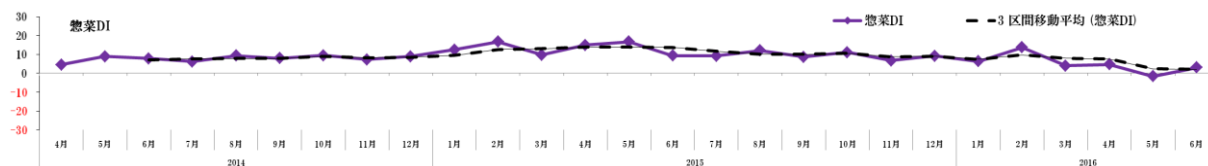
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
畜産（前月）	6.7	32.6	41.5	16.1	3.1	-6.0
畜産（当月）	6.6	37.6	33.7	21.0	1.1	-6.9



焼肉やステーキ商材が好調であり牛肉が好調となっているものの、牛肉の相場高が続いているため、和牛から割安な国産牛や輸入牛に需要のシフトがみられ伸び悩みをみせた。豚や鶏肉も前年に比べ相場が低下しているため単価が低下傾向にあり、価格競争も激しくなり不調とするコメントが多くみられた。

4. 惣菜DI：3.1（やや好調）

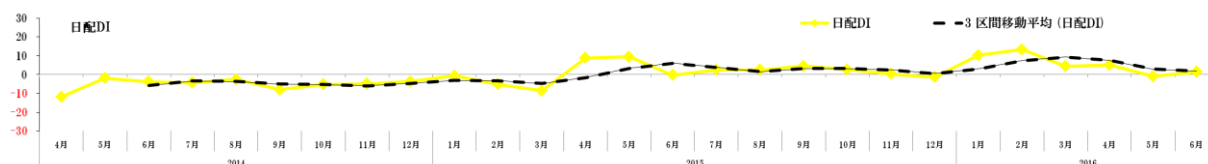
回答構成比（％）	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
惣菜（前月）	5.2	27.7	39.3	23.6	4.2	-1.6
惣菜（当月）	6.1	17.2	39.4	32.8	4.4	3.1



気温の上昇とともに涼味惣菜が好調、米飯類や揚げ物などが不調となっている。売場の拡大や催事の強化、夕方や夜間に対する取り組み、新商品開発が成果をあげている店舗がみられる一方で、競争の激しさを指摘するコメントや人手不足で対応しきれないとのコメントもみられた。夕方の豪雨によりロスが発生した地域もあった。

5. 日配DI：1.4（やや好調）

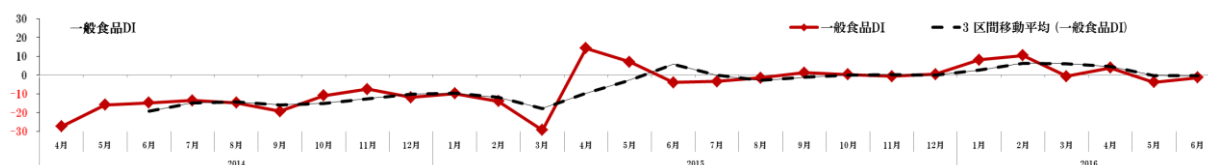
回答構成比（％）	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
日配（前月）	3.1	28.1	40.1	26.6	2.1	-0.9
日配（当月）	3.9	19.3	45.3	30.4	1.1	1.4



総じて気温が高くなった影響で、涼味関連商材（アイスやデザート、麺）などが比較的好調となった。引き続き、機能性ヨーグルトや乳酸菌飲料が好調であり、メディアで取り上げられた梅干しに引き続き特需が発生している店舗もみられた。パンについては好不調分かれる判断になっている。価格競争の厳しいとの指摘もみられる。

6. 一般食品：-1.4（やや不調）

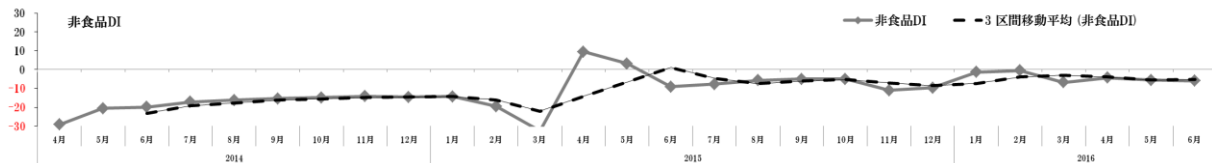
回答構成比（％）	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
一般食品（前月）	4.7	29.2	44.3	20.8	1.0	-3.9
一般食品（当月）	5.0	26.0	39.8	28.2	1.1	-1.4



飲料などの涼味品については好調が多くなっているが、前年との反動で伸び悩みを指摘するコメントもみられる。米については前年に比べ回復傾向となっている。菓子や調味料不振、前年のココナッツオイル特需からの反動がみられている。価格競争の厳しいとの指摘も多い。

7. 非食品 DI：-5.9（やや不調）

回答構成比（％）	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
非食品（前月）	7.4	33.9	37.0	16.9	4.8	-5.6
非食品（当月）	8.5	29.9	42.9	14.1	4.5	-5.9



住宅用洗剤や殺虫剤などの季節商材の一部に動きがよくなっているものが見られるが、ドラッグストアなど他業態との競合で厳しい状況にある。引き続き値上げされたタバコが不調。インバウンド効果からの反動を指摘するコメントもみられた。

カテゴリー別 DI による好不調判断

かなり好調：～ 20 好調：20 ～ 10 やや好調：10 ～ 0
 やや不調：0 ～ -10 不調：-10 ～ -20 かなり不調：-20～

2016年7月調査（6月実績）キーワード TOP3

1. 天候要因（気温高い・豪雨・少雨）
2. 来客数の減少と買い上げ点数減（価格競争激化）
3. プレミアム付き商品券の反動

スーパーマーケット景気動向調査 集計数

6月実績速報版 191社
 5月実績確報版 204社

スーパーマーケット景気動向調査に関するお問い合わせ

スーパーマーケット統計事務局 tokei@super.or.jp